

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）後半5か年において琵琶湖森林づくり県民税を充当する施策の標準的な事業費の試算について（未確定案）

1 基本計画の目指す方向

（1）基本方向

琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進

（2）基本方針

琵琶湖の水源林の恵みを活かし、皆で支え育む森林づくり

やまの資源をフル活用した収益の最大化

①森林づくり ～多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり～

重視する機能に応じた森林づくりへの誘導（木材生産機能重視、公益的機能重視）

災害に強い森林づくりの推進

②地域づくり ～多様な主体との協働により進める森林・林業・山村づくり～

県民協働による森林づくり、森林づくりの基盤となる農山村の活性化

③産業づくり ～森林資源の循環利用による林業の成長産業化～

素材生産の強化、県内木材需要への貢献、林業産出額の向上、木育の推進

④人づくり ～豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり～

森林・林業の担い手育成、あらゆる世代や地域への森林環境育

2 環境重視と県民協働の視点による森林づくりの計画期間終期（5年後）に目指す状態

※ 基本計画の目指す4つの方針別に整理

（1）森林づくり

①多面的機能を高度に発揮させる森林整備

- ・森林のもつ機能や立地条件などに応じた最適な森林づくりが実践されている。
- ・多様な動植物が生息・生育する環境に配慮した豊かな森林づくりが図られている。

②森林環境保全のための調査研究

- ・少花粉スギ・ヒノキの種子生産について継続的な研究がなされ、安定供給体制が確立しつつある。
- ・環境に配慮した森林づくりに寄与する研究が実践されている。

③真に守るべき水源林の保全

- ・適切な保全巡視により、違法な開発や盗伐の早期発見、災害復旧の早期対応などが行われ、森林が適切に保全されている。
- ・森林の公的管理を進める新たな枠組みにより保全される森林が増えつつある。

④二ホンジカ対策

- ・琵琶湖の水源として重要な奥山の森林では、シカの捕獲が進み生息数が管理され、衰退した下層植生が回復しつつある。

⑤巨樹・巨木等多様な森林生態系の保全

- ・巨樹・巨木の森をはじめとする多様な森林生態系の保全が図られている。

⑥次世代の森林づくり

- ・森林の立地条件のよいところでは、伐採・再造林が促進され、若く活力ある森林が育成されている。
- ・再造林の増加に対応した、県産苗木（コンテナ苗）の生産供給体制が確立しつつある。
- ・カーボンクレジットの活用により、新たな収入源を活用した森林整備が進んでいる。

⑦間伐材等の搬出・利用

- ・現場の状況に対応した路網整備や高性能林業機械による機械化が促進され、森林組合をはじめとする林業事業体による効率的な間伐材等の搬出が実践されている。
- ・間伐材等は需要に応じて適切に仕分けされ、合理的な流通が図られている。

⑧県民の安心・安全な暮らしに貢献する森林づくり

- ・人家近くや県民生活に重要なライフライン沿いなどで、危険木の除去と併せた森林整備や更新が実施され、災害に強い森林づくりが推進されている。
- ・里山が適切に手入れされ、防災・獣害防止機能が高まっている

（２）地域づくり

⑨県民協働による森林づくり

- ・森林づくりの大切さを啓発するとともに、森林づくり活動に対しきめ細かな支援を行い、県民の森林づくりへの理解や参加が図られている。
- ・県民や企業など多様な主体による森林づくりへの参画が図られている。

⑩森林づくりの基盤となる農山村の活性化

- ・都市と農山村における多様な主体による取組により、森林づくりの基盤となる農山村の維持・活性化に向けた取組が県内全域で展開されている。

（３）産業づくり

⑪びわ湖材利用の促進

- ・県産材の多くでびわ湖材の認証増加がなされ、住宅や公共施設、民間の非住宅などで活用され、木材の地産地消が促進されている。
- ・県内外の製材所が連携・協力して建築需要等に対応し、多くの A 材が県内で加工・利用されている。
- ・製材工場において、JAS 認定の取得が進みつつある。
- ・木育施設「しがモック」を含め、県内各地に木育に取り組む施設があり、多くの人が木の良さを感ずることができる。

（４）人づくり

⑫次代を担う人づくりの推進

- ・すべての小学４年生を対象に「やまのこ」が、継続して実施されている。
- ・様々な世代を対象に、様々な地域で森林環境学習が実践され、森林づくりの重要性への理解が進みつつある。

3 県民税を充当する標準的な事業費の試算について 青字：R6実績見込み

※ 単年度で必要な事業（単位：千円）、琵琶湖森林づくり事業の構成別に整理。

（１）環境を重視した森林づくり

事業名(仮)	事業概要	実施主体	主な事業目標量	事業費	県民税
①多面的機能を発揮させる森林整備					
1 農地漁場水源確保森林整備事業	特定地域の除間伐への支援	森林組合等	350ha/年	351,000	151,000
2 環境林整備事業	奥山の未整備森林の針広混交林化	森林組合等	300ha/年	60,000	60,000 52,000 ↑
				411,000	211,000

②森林環境保全のための調査研究

1 調査研究事業	少花粉スギ、ヒノキの開発等	県	継続調査	11,000	11,000
2 調査研究事業(研究機関)	水源かん養機能等のための調査研究	県	〃	5,000	5,000
				16,000	16,000

③真に守るべき水源林の保全

1 下層植生回復検証事業	高標高域において、多様多層な下層植生の回復を図り土壌流出を抑えるために、広域的な獣害防護柵を設置し効果の検証を行う。	県	下層植生回復の手法検証調査	6,000	6,000 8,000 ↓
2 水源林保全巡視員の配置	水源林保全巡視員による巡視	県	5人/年	14,000	14,000
				20,000	20,000

④ニホンジカ捕獲対策

1 ニホンジカ特別対策事業	市町による捕獲	市町	滋賀県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画に基づく捕獲の推進	114,000	114,000
3 指定管理鳥獣捕獲等事業	県による高標高地での捕獲および調査	県		30,000	11,000 9,000 ↑
				144,000	125,000

⑤巨樹・巨木等多様な森林生態系の保全・活用

1 やまを活かす巨樹・巨木の森保全活用事業	巨樹・巨木の保全・活用に必要な経費に対して支援を行う。	巨木保全団体	協定木の巡視本数100本/年	1,000	1,000 2,000 ↓
2 地域資源活用エコツーリズム推進事業	県北部に群生している巨樹・巨木を地域の魅力として、自然資源を活用しつつ地域の自然環境を保全するモデルとしてエコツーリズムを推進する。	県	エコツアーの実施回数3回/年	5,000	2,000 3,000 ↓
				6,000	3,000

⑥次世代の森林づくり

1	びわ湖カーボンプレジットによる森林づくり推進事業	カーボンプレジット創出への支援	森林団体	2団体/年	2,000	2,000 4,000 ↓
2	架線集材搬出支援事業	架線集材の架線等の設置・撤去への支援	森林組合等	6箇所/年	4,000	4,000
3	次世代森林育成対策事業	再造林に伴う獣害防止施設の設置、維持管理への支援	森林組合等	設置:10ha/年 維持管理:50ha/年	4,000	4,000
					10,000	10,000

⑦間伐材等の搬出・利用

1	地球温暖化防止対策県産材供給支援	適切な仕分け・寸検・保管等に対する助成	森林組合等	3.4万 m ³ /年	34,000	34,000
2	間伐材等搬出対策(機械化促進)	林業機械のレンタルに対する助成	林業事業体	4事業体/年	6,000	6,000 3,000 ↑
3	間伐材等搬出対策(路網整備)	間伐材等の搬出利用支援(搬出道)	森林組合等	2千 m/年	3,000	3,000
					43,000	43,000

⑧県民の安心・安全な暮らしに貢献する森林づくり

1	風倒木等被害対策事業	重要インフラ(道路、線路、電線等)に接する森林の整備に対する助成	市町	2ha/年	4,000	4,000 6,000 ↓
5	緩衝帯整備事業	獣害防止に資する里山整備に対する助成	市町	5ha/年	4,000	4,000 6,000 ↓
					8,000	8,000

(1)環境を重視した森林づくり小計

658,000 436,000
433,000 ↑

(2)県民協働による森林づくり

事業名(仮)	事業概要	実施主体	主な事業目標量	事業費	県民税
⑨県民協働による森づくりの推進					
1	森林づくりの啓発ほか	県		15,000	15,000
2	森林・山村多面的機能発揮対策	団体	15 団体/年	1,000	1,000
				16,000	16,000

⑩森林山村活性化の取組

1	「やまの健康」実践事業	都市部(特に企業)に対して「やまとの関わりを提案し、具体的な地域とのマッチングを行う。	県	2企業/年	2,000	2,000
2	(仮)地域森林マッチング事業	企業(団体)と地域のマッチングを推進するため、コーディネートのための支援を行う。	県	4地域/年	5,000	5,000 0 ↑
3	森の恵み活用促進事業		集落・団体	10 地区/年	4,000	4,000
	(廃)「やまと都市をつなぐ」森林山村地域活性化事業	森林サービス産業の事業化や資源を活かす人材育成確保を行う	県		0	0 5,000 ↓
					11,000	11,000

⑪びわ湖材利用の促進

1	びわ湖材産地証明事業	産地証明制度の運営、啓発	協議会	素材生産量 R12:165,000m3	4,000	4,000
2	木の香る淡海の家推進事業	住宅の新築、改修、外構の支援	協議会	民間住宅 150戸/年	40,000	40,000 46,000 ↓
3	びわ湖材利用促進事業	モデル的な公共建築物および民間 非住宅建築物へのびわ湖材利用 促進	市町	非住宅(製品導入含) 30施設/年	72,000	72,000 82,000 ↓
4	木造建築設計推進事業	セミナー開催、助言等	県	セミナー4回/年、 助言6回/年	4,000	4,000
5	(廃)森の資源研究開発事業	県産材の製品開発、商品化	団体		0	0 3,000 ↓
6	木育推進事業	木育普及啓発、人材育成、拠点運 営	県、市 町	全市町での取組を 支援	48,000	42,000 24,000 ↑
7	未利用材利活用促進事業	木質バイオマス利用促進	森林組 合等	4,000m3/年	2,000	2,000
					170,000	164,000

⑫次代を担う人づくりの推進

1	幼児里山保育推進事業	森林で行う幼児教育・保育の体験 活動を支援する。	自然保 育認定 団体	10団体/年	2,000	2,000
2	幼児里山保育指導者育成事 業	自然を活用した幼児教育・保育の 指導者を養成する。	県	研修3回/年	2,000	2,000
3	森林環境学習「やまのこ」事業		県、市 町	全小学校を対象	120,000	120,000 115,000 ↑
					124,000	124,000

(2)県民協働による森林づくり小計					321,000	315,000 310,000 ↑
-------------------	--	--	--	--	---------	----------------------

合計					979,000	751,000 743,000 ↑
----	--	--	--	--	---------	----------------------